

令和6年度 (2024年度)	土木部の取り組み実績
<部長の方針・考え方> 誰もが安全・安心に暮らすことができる「さらに選ばれるまち」をめざし、道路や公園などの都市基盤整備を着実に進めるとともに、効率的・効果的な維持管理に取り組みます。 【重点的な取り組み】 ①子育て世帯も楽しく、安全に過ごせるまちづくり ②安全・快適な交通環境を確保するための道路ネットワークの強化 ③安全・安心で快適な通行空間の確保 ④持続可能な公共交通の維持・確保 ⑤賑わいとゆとりあるみどりの空間の形成	
<部の構成> 土木政策課 道路河川整備課 道路河川管理課 道路河川補修課 公園みどり課 交通対策課 用地課	<主な担当事務> (1)道路及交通に関すること (2)公園及び緑化に関すること (3)河川に関すること

重点的な取り組み：子育て世帯も楽しく、安全に過ごせるまちづくり

【施策シート：24-01、04-04】

子育て世帯も安全・安心に過ごせる都市環境の形成に向け、公園の整備や通学路・未就学児移動経路の子どもの安全対策に取り組みます。

1. 子どもがワクワクするような公園の整備

ひらかたの子どもが笑顔で健やかに成長できるまち、子育て世帯が楽しく子育てできるまちの実現をめざし、安心して楽しく過ごせる子どもがワクワクするような公園づくりに向けて、公園に幼児から児童まで、それぞれの年齢に適したあそびができるような遊具や休憩施設などを設置するための計画策定を進めます。

2. 安全対策

子育て世帯が安全・安心で快適に移動できるまちづくりに向け、子どもの交通安全プログラムに基づき、教育委員会、道路管理者、交通管理者（警察署）と連携し、子どもを守る交通安全対策に取り組みます。また、ベビーカー等を快適に利用できるよう、歩行空間の確保に向け、中振新香里線及び高田11号線の設計を進めます。さらに、街路樹の適正な維持管理により、安全で快適な歩行空間を維持・形成します。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和6年度実績
子どもの交通安全プログラムで土木部が実施した当該年度対策済率	80%	84%

実 績	① 子どものあそび場整備事業の基本計画を策定。 ② 子どもの交通安全プログラムに基づき通学路等の安全対策事業を実施。 ＜全 186 件中、対策済 156 件、対策中 30 件＞ ③ 中振新香里線の歩道拡幅詳細設計を実施。 ④ 高田 11 号線の歩道拡幅に伴う測量設計を実施。
説 明	① アンケート調査等によりニーズ把握を行い、公園に必要とされている施設として、遊具や休憩施設等を設置する計画を策定しました。令和 7 年度は計画に基づき、主要な公園等から設計・整備に取り組んでいきます。 ② 着実かつ効果的に子どもを守る交通安全対策を実施するため、子どもの交通安全プログラムに基づき通学路等の交通安全対策施設の整備を実施しました。 令和 7 年度も本プログラムに基づき、関係機関と連携して、子どもの移動経路における安全確保を図っていきます。 ③ 中振新香里線において歩道拡幅に向けた詳細設計を実施しました。令和 7 年度は整備工事に着手し、引き続き歩道拡幅整備事業を進めます。 ④ 高田 11 号線において歩道拡幅に向けた詳細設計を実施しました。令和 7 年度以降も引き続き歩道拡幅整備事業を進めます。

重点的な取り組み：安全・快適な交通環境を確保するための道路ネットワークの強化

【施策シート：04—01、04—03】

市内の渋滞緩和や物流の円滑化、災害時における救援活動を支える道路網の強化など、国土強靱化に資する道路ネットワークの強化を進めます。

1. 都市計画道路の整備

本市の道路ネットワークの軸となる都市計画道路のうち、牧野長尾線については府道交野久御山線から市道長尾京田辺線までの区間の続きとなる長尾大池周辺区間の整備を進めます。併せて、昨年度供用開始した長尾杉線（杉工区）とも接続する長尾杉線（長尾工区）の整備を進めていきます。

また、通学路等の安全な歩行空間の確保に向け、御殿山小倉線は 4 月 30 日に供用開始する区間に続けて、市道渚中宮線までの区間の整備に向けた検討に着手し、同じく 4 月 25 日に暫定供用を開始する中振交野線は本格供用に向けた用地取得に取り組めます。



《長尾大池周辺区間の整備工事》

2. 新名神高速道路や府道の整備促進

新名神高速道路については、ネクスコ西日本がめざす令和9年度の完成に向け、整備促進に取り組めます。

また、新名神高速道路のアクセス道路となる内里高野道線のうち、現道拡幅区間は概ね完成して第一四半期に完成する予定ですが、残りのバイパス（新設）区間は新名神高速道路の完成に合わせて令和9年度の完成となることから、引き続き、大阪府や関係機関と協力して整備促進に取り組めます。

加えて、牧野高槻線と京都守口線拡幅部の早期完成に向けて、大阪府との協定に基づき、用地取得業務を進めます。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和6年度実績
市事業における都市計画道路の整備率 （当該年度までの整備延長/総整備延長）	50%	46.6%

実 績	① 都市計画道路整備事業を推進。 ・ 牧野長尾線の整備工事と用地取得を実施。 ＜事業認可 1,050m、うち延長約 220m施工＞ ・ 長尾杉線の整備工事と用地取得を実施。 ＜事業認可 1,750m、うち 530m施工＞ ・ 御殿山小倉線の整備工事を完了。 ＜約 840m整備済＞ 続く約 400mの設計着手。 ・ 中振交野線の整備工事と用地取得を実施。 ＜事業認可 550m、うち延長約 180m施工＞ ② 北山通線の整備を推進。北山通線の整備工事完了。＜約 140m整備済＞ ③ 新名神高速道路、内里高野道線を促進。 内里高野道線現道拡幅区間完成。＜整備延長 950mのうち、約 750m完成＞ ④ 都市計画道路牧野高槻線及び府道京都守口線の整備を促進。 物件調査を行い、事業用地＜18 筆 3364.46 m²＞の取得及び関連する補償を実施。
説 明	① 牧野長尾線については、昨年度に引き続き長尾大池区間の整備工事と合わせ、長尾大池から府道枚方高槻線までの住宅区間の事業用地の取得を進めました。長尾杉線については、長尾工区における事業用地の取得及び整備工事を進めました。御殿山小倉線については、令和6年4月30日に供用開始し、続く渚中宮線までの区間の予備設計に着手しました。中振交野線については、令和6年4月25日に暫定供用を開始し、今後は本格供用開始に向けた用地取得作業等に取り組んでいきます。 ② 北山通線の本線の片側交互通行解除及び歩道整備を令和6年4月17日に完了しました。

- | | |
|--|--|
| | <p>③ 内里高野道線は、新名神高速道路と合わせて供用する約 200m 区間を除き、国道 1 号から長尾家具町 1 丁目南交差点までの約 750m 区間が令和 6 年 10 月に完成しました。(令和 6 年 3 月 28 日に部分供用済み)</p> <p>④ 牧野高槻線及び京都守口線については、事業範囲内にある建物等の補償金算定を行い、事業用地の取得及び関連する補償を実施しました。</p> |
|--|--|

重点的な取り組み：安全・安心で快適な通行空間の確保

【施策シート：01—03、04—01、04—03、04—04】

本市の道路を安全・安心に利用していただけるよう通行空間の整備や維持管理、並びに警察等関係機関と連携した交通安全啓発にも取り組みます。

1. 通行空間の整備

「枚方市バリアフリー基本構想」等に基づき、高齢者や障害者など誰もが安全・安心で快適に移動できる歩行空間の確保に向け、牧野駅周辺のバリアフリー工事を進めるとともに、中振新香里線及び高田 11 号線の歩道整備の設計を進めます。また、府道枚方高槻線についても大阪府との協定に基づき、用地取得業務を進め、歩道の整備に取り組みます。

さらに、「枚方市自転車活用推進計画」等に基づき、安全で快適な自転車通行空間の確保に向け、甲斐田三栗線、長尾春日線、及び牧野長尾線については設計を進め、市道牧野本町第 1 号線他 4 路線については、設計と整備に取り組みます。

2. 道路の維持管理の推進

市民生活や経済活動を支えるインフラ施設として重要な役割を担っている道路の舗装等を適切に維持管理するため、「枚方市道路長寿命化修繕計画」に基づき、国の補助金などを活用しながら、効率的・効果的に長寿命化を進めます。特に、災害時に緊急車両等の通行路となる緊急交通路を含む主要道路については、損傷や劣化が進行する前に対策を講じる予防保全型の舗装の更新等も行います。

3. 直営による迅速な対応

市民の安全・安心を第一に考え、道路、公園、及び準用河川などの機能や安全性を確保できるよう、異常や支障箇所の早期発見を目的に、関係機関とも連携しながら、定期的なパトロールを継続して行い、直営による迅速な補修の実施など、効率的・効果的な維持管理に取り組みます。



《道路陥没の復旧作業》



《老朽化に伴うブランコの入替え作業》

4. 啓発

めいわく駐車、放置自転車対策を推進し、安全・安心で快適な通行空間の確保に取り組むとともに、企業版ふるさと納税を活用したラッピングバスを用いて「信号のない横断歩道での車両ストップ率の向上」に向けた啓発を継続します。併せて、本市から発信する交通安全教育に係るコンテンツを増やすことで、交通ルールとマナーの定着を図り、交通事故防止に繋げていきます。



《デザイン：牧野高校生・ R6 協賛：若林設備工業㈱》

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和6年度実績
市内で発生した自転車や歩行者が関わる交通事故件数	430 件	409 件

実 績	① 渚西第6号線・第7号線のバリアフリー整備に伴う測量設計委託を実施。 牧野北町第2号線のバリアフリー整備工事を実施。＜延長約378m実施＞
	② 府道枚方高槻線の整備を促進。 先行整備区間の事業用地＜1筆 576.34㎡＞の取得及び関連する補償を行い、 残る区間については権利者説明会を開催＜2回＞し、用地取得に向けて用地測量を実施。
	③ 牧野本町第1号線他3路線の自転車通行空間整備に伴う設計委託を実施。 北片鉾小倉東線他1路線の自転車通行空間整備工事を実施。 ＜延長約317m実施＞
	④ 山之上高田線他1路線のリフレッシュ整備に伴う修繕設計委託を実施。 楠葉中宮線他3路線のリフレッシュ整備工事を実施。 ＜延長約1,425m実施＞
	⑤ 越前林高架橋修繕に伴う設計委託を実施。 無名58号橋他2橋の橋梁長寿命化修繕工事を実施。＜工事：3橋＞
	⑥ 市内一斉の道路パトロールを実施。 ＜実施回数：2回（6月・12月）、道路損傷箇所件数：111件＞
	⑦ 橋梁・土木構造物（擁壁）点検を実施。＜橋梁点検数：17橋、擁壁6箇所＞
	⑧ 「枚方市舗装長寿命化修繕計画」に基づき、修繕工事を実施。 ＜工事：8路線（延長約3,334m）＞
	⑨ 「枚方市舗装長寿命化修繕計画」の更新を行い、対象路線を28路線から66 路線に拡充（対象年度：令和6年度～令和10年度）。
	⑩ 「枚方市公園施設長寿命化計画」に基づき、公園施設更新工事を実施。 ＜工事：15公園＞
	⑪ 道路補修及び公園等に対する通報・要望等に対応。 ＜道路補修等に対する要望に対応：2,693件＞ ＜公園に対する要望に対応：1,955件＞

	⑫ 市内高校生がデザインしたポスターを基にしたラッピングバスによる「信号のない横断歩道での車両ストップ率の向上」の啓発を実施。 ⑬ 市内全小学校で交通安全教室（歩行、自転車）を実施。 ＜参加者数：6,281名＞ ⑭ 交通安全啓発DVD等を市内の保育所（園）、幼稚園に貸出。 ＜参加者数：3,560名＞
説 明	① 牧野北町第2号線については、「枚方市バリアフリー基本構想」による道路特定事業計画に基づき、バリアフリー整備工事を実施しました。令和7年度以降も計画的にバリアフリー整備事業を進めます。 ② 枚方高槻線については、大阪歯科大学牧野キャンパス前の延長約120mの区間について、事業用地の取得及び関連する補償を行い、残る区間については権利者説明会を開催し、用地取得に向けて用地測量に着手しました。 ③ 北片鉾小倉東線他1路線については、「枚方市主要駅鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画」に基づき、自転車通行空間の整備工事を実施しました。令和7年度も引き続き、計画的に自転車通行空間の整備事業を進めます。 ④ 楠葉中宮線他3路線については、「リフレッシュ整備計画」に基づき、舗装修繕の整備工事を実施しました。令和7年度も引き続き、計画的に舗装修繕の整備を進めます。 ⑤ 「枚方市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、無名58号橋他2橋の修繕工事を実施しました。 ⑥ 安全で安心して道路を利用していただけるよう、市内一斉の道路パトロールを実施し、認定道路および市管理道路の異常、支障箇所の応急対応を行いました。令和7年度も定期的なパトロールの継続と迅速な対応に取り組めます。 ⑦ 「枚方市道路長寿命化修繕計画」に基づき、道路の異常、支障箇所を早期に発見するため、定期点検を実施しました。 ⑧ 「枚方市舗装長寿命化修繕計画」に基づき、渚禁野線ほか7路線の修繕工事を行いました。令和7年度も引き続き、持続可能な維持管理を推進します。 ⑨ 「枚方市舗装長寿命化修繕計画」更新のため、路面性状調査委託を実施し、計画の更新（対象年度：令和6年度～令和10年度）を行いました。令和6年度より計画対象路線を拡充しており、持続的に安全・安心な道路の通行空間を確保するため、予防保全型補修により、さらなる事故予防と長期的な維持管理コストの縮減に取り組めます。 ⑩ 「枚方市公園施設長寿命化計画」に基づき、15公園の更新工事を行いました。令和7年度も引き続き、施設の老朽化等による事故の未然防止を図るため、計画的に工事及び実施設計を進めます。 ⑪ 道路や公園、準用河川などの機能や安全性を確保するため、パトロールや通報・要望等に基づき補修等を行いました。特に、利用者の安全に影響のある損傷等については、夜間・休日を含め迅速に現場を調査し、直営施工にて危険回

	避のための緊急対応を行いました。 ⑫ 「信号のない横断歩道」での一時停止率向上を目的に、企業版ふるさと納税を財源として、市内高校生デザインの啓発イラストを枚方市内で運行する民間バス後部にラッピングし、交通ルールの啓発を実施しました。令和7年度も、引き続きラッピングバスの運行を継続し、更なる周知啓発を行い、信号のない横断歩道でのストップ率の向上を目指します。 ⑬ 交通事故の未然防止を目的に、一人で行動する機会が増える小学1年生には歩行について、自転車での移動が増えてくる小学3年生には自転車についての交通安全教室を、市内の全小学校で実施し、交通事故に遭わないための交通ルールやマナーなどの教育を行いました。令和7年度も、市内全小学校を対象に、歩行と自転車の交通安全教室の実施を予定しており、交通事故の削減を目指します。 ⑭ 就学前の幼児に交通ルールやマナーを意識してもらうことを目的に、保育園（所）や幼稚園に交通安全啓発のDVD等の貸し出しを実施することで、小学校入学前の子どもたちが交通事故に遭わないための教育を実施しました。令和7年度も、市内の保育所（園）幼稚園を対象に、交通安全啓発DVD等の貸し出しを予定しており、交通事故の削減を目指します。
--	--

重点的な取り組み：持続可能な公共交通の維持・確保

【施策シート：05—01】

人口減少や少子高齢化に加え、コロナ禍を契機としたライフスタイルの変化により公共交通利用者の減少が進む中、市民の誰もが移動しやすい活力のある社会生活を維持・充実させていくため、引き続き、公共交通を使いやすく、また使いたくなるように、公共交通の環境整備に取り組めます。

1. 枚方市総合交通計画の改定

平成30年（2018年）12月策定の交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図ることを目的とした枚方市総合交通計画を全面改定し、新たに「地域公共交通計画」の位置づけを付与することで、公共交通を取り巻く環境の変化等に機動的に対応していきます。

2. 地域との協働

それぞれの地域にあった交通サービスを確保するため、交通に対する意識の醸成や機運の向上に向けた勉強会や出前講座を実施し、地域支援・自主運行型コミュニティ交通システムの構築に地域と協働し取り組めます。その一つであるボランティア輸送についても、引き続き支援していきます。

3. 利用促進

交通タウンマップを定期的に更新し市内転入者等に配布するとともに、マップを活用したバスの乗り方教室と市内の魅力再発見を目的とした「バス！のってスタンプラリー」を開催することで、引き続き、公共交通を利用する機会の増加を図ります。併せて、昨年度に引き続き、将来の公共交通利用者である子どもを対象に、公共交通としてのバスの役割や魅力、並びに緊急時の対応や安全確保策などバス運行を支えるバス事業者の取り組みを学び、将来の公共交通を支える人材育成として、こども夢基金を活用したバックヤードツアーを開催します。



《こども夢基金事業：バスバックヤードツアー》
(整備棟でのバスリフトアップ)

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和6年度実績
公共交通利用促進啓発イベントの参加者数 (単年度)	510 人	295 人

実 績	① 枚方市総合交通計画を改定。 ② 枚方市ボランティア輸送補助金を交付。＜2団体＞ ③ 「バス！のってスタンプラリー」を実施。＜参加者数：183名＞ ④ 「バスバックヤードツアー」を実施。＜参加者数：112名＞ ⑤ 「ひらかた交通タウンマップ」発行。＜発行部数：10,000部＞
説 明	① 人口減少や少子高齢化による公共交通利用者数の減少、更にはバス運転手の不足がもたらす路線バスの減便など、近年の公共交通を取り巻く環境の変化に機動的に対応するため、市民や交通関係機関等が参画する枚方市総合交通計画推進協議会を3回開催し、計画改定について議論を行い、令和7年3月に枚方市総合交通計画を改定しました。 ② 令和6年度も引き続き氷室台地区及び菅原東地区の団体に、ボランティア輸送補助金（令和3年4月に制度創設）を交付しました。令和7年度は公共交通を補完する移動手段の確保として、ボランティア輸送補助制度の拡充と制度の仕組みや導入の手続きを示す手引きを作成し、制度の水平展開を図ります。 ③ 公共交通の利用促進を図ることを目的に、NPO団体や交通事業者と共に「バス！のってスタンプラリー」を実施し、市内の施設にスタンプを配置して周遊いただき、市内の観光資源やバスの利便性の良さを周知しました。令和7年度も、NPO団体や交通事業者と協力して効果的な周知を行い、より多くの市民に参加していただけるよう「バスのって！スタンプラリー」を実施します。 ④ 今ある公共交通サービスの維持と市民の足を守る路線バスの将来の担い手を育むため、NPO団体や交通事業者と共に、将来の利用者である子どもとその保護者を対象に普段見ることのできないバスバックヤードの見学及び路線バス

	の現状や魅力のPRを行いました。令和7年度も、「こども夢基金」を活用し、引き続き「バスバックヤードツアー」を実施します。 ⑤ 公共交通機関の利用促進のため、本市の地域情報と公共交通の情報を掲載した「ひらかた交通タウンマップ」を市内公共施設において市内転入者等へ配布しました。令和7年度も「ひらかた交通タウンマップ」を市内で配布し、公共交通の利用促進を図っていきます。
--	---

重点的な取り組み：賑わいとゆとりあるみどりの空間の形成

【施策シート：24—02】

都市の魅力向上につながる、賑わいとみどり豊かな都市環境の形成や、市民にとって利用したいと思える公園や街路樹等の整備・再生、緑化の推進を図ります。

1. 樟葉駅前広場

市北部の玄関口となる樟葉駅周辺については、賑わいとゆとりある空間の形成に向け、道路法の規制緩和手法の歩行者利便増進道路制度、いわゆる「ほこみち制度」を活用するため、実証実験を経て、持続可能な賑わい創出に取り組む占用予定者を選定します。

また、選定した占用予定者等と連携して、ハピネスパークKUZUHAグラススクエア（芝生広場）の良好な維持管理に取り組みます。



《ハピネスパーク KUZUHA
グラススクエア》

2. 公園施設の維持管理と小規模公園の活性化

持続可能な維持管理を推進するため、「公園施設長寿命化計画」に基づき、国の補助金などを活用しながら、効率的・効果的に長寿命化を進めます。また、少子高齢化の進展などにより、利用者の減少や施設の老朽化などの課題が顕在化している小規模公園については、近隣住民のニーズに寄り添った公園となるように地域との協働の下、公園の活性化を進めます。

3. 緑化の推進

「2024 緑化フェスティバル」を開催し、市民へのみどりに触れ合う場の提供とまちなかの緑を育てる取り組みを進めます。また、引き続き、福祉関係施設や学校園等で育てた花苗などを身近な公園に植栽する「花いっぱい健康づくりプロジェクト」や緑化講習会の実施し、更なる緑化の推進に取り組めます。

4. 街路樹の維持管理の推進

「枚方市街路樹維持管理方針」に基づき、大木化・老朽化が進行している街路樹を適切に維持管理し、自然災害による倒木等の抑制や、安全で快適な歩行空間の維持・形成に取り組めます。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和6年度実績
活性化に取り組む小規模公園数	2 施設	1 施設
緑地面積	1, 529ha	1, 532ha

実 績	① 「ほこみち制度」における占用者を選定。 ② 「枚方市公園施設長寿命化計画」に基づき、公園施設更新工事を実施。 ＜工事：15 公園＞ ③ 集会所の建替えに関する地元要望に応えるため、公園用途を変更し、集会所建設用地として活用。＜活性化：1 公園＞ ④ 緑化推進に向け、以下の取組を実施。 ・花いっぱい健康づくりプロジェクト＜市内福祉関係施設等 3 箇所で開催＞ ・花いっぱい運動＜公園：61 団体、学校園：33 団体＞ ・公園アダプト＜234 公園、175 団体＞ ⑤ 「枚方市街路樹維持管理方針」に基づき維持管理を実施。 直営・委託業者により随時危険木の撤去を実施。
説 明	① ほこみち制度を適用する範囲となる利便増進誘導区域の指定に向けた実証実験を経て、令和6年9月に区域を指定しました。また、区域の占用予定者を公募し、学識等で構成する「枚方市歩行者利便増進道路占用予定者選定委員会」において、占用予定者の評価・選定を行い、令和6年12月からほこみち制度による道路占用を開始し、占用者と連携して賑わい創出と広場の維持管理に取り組みました。令和7年度も引き続き、ほこみち制度を活用し、占用者と連携した賑わい創出と広場の維持管理に取り組みます。 ② 「枚方市公園施設長寿命化計画」に基づき、15 公園の更新工事を行いました。令和7年度も引き続き、施設の老朽化等による事故の未然防止を図るため、計画的に工事及び実施設計を進めます。 ③ 老朽化した集会所の建替えの地元ニーズを受け、庁内関係課と協議を行い、集会所付き小規模公園として活用しました。 ④ 緑化推進を主体的に担っていただけるよう市民意識の醸成と持続的な活動につながる担い手の育成を図るとともに市民や市民団体、事業所など多様な主体と連携し、持続可能で効果的な緑化に向け、「緑化フェスティバル」や「菊花展」並びに市民講座を開催するとともに新生児誕生記念苗木の配付を行い、市民参加による緑化推進や緑化活動の場の提供を行いました。「花いっぱい健康づくりプロジェクト」では、市内福祉施設で育てた花苗を近隣の公園に植え付け、地域の緑化推進の充実を図りました。令和7年度も引き続き活動実施に向け、地元にはアダプト・花いっぱい手続き等のソフト支援を継続していきます。

	⑤ 「枚方市街路樹維持管理方針」を令和6年3月に策定し、市内にある約5,100本の高木街路樹について、現在剪定委託業者や直営による点検パトロールを行い、倒伏や落枝の恐れがある危険木や枝を撤去しました。植樹柵や歩道舗装の根上がりが発見された際は、即時復旧しました。今後も引き続き安全な通行空間の確保に努めます。
--	---